

# 令和4年度 決算審査

9月21日の本会議で、令和4年度の「一般会計決算」のほか「国民健康保険事業」、「介護保険事業」、「後期高齢者医療事業」の3特別会計決算の認定とともに、企業会計である「水道事業会計」と「公共下水道事業会計」の剰余金の処分と決算の認定についての各議案を予算決算常任委員会に付託しました。

同委員会では、9月26日に総括質疑と歳入の質疑、27日に総務分科会、28日に文教福祉分科会、29日に環境都市分科会を開催し、令和4年度決算の審査を慎重に行いました。  
(以下、質疑などの要旨を掲載)

## 総括質疑

### 森林資源の活用について

**問** 全国屈指の森林観光都市を目指す本市において、森林資源を最大限活用し、魅力ある取り組みを進めていくべきと考えるが、実施状況はどのようなか。

**答** 令和4年度は、秦野市森林整備計画を改定し、水源林や里山林の整備を実施した。また、市民が森林と触れ合う取り組みとして、森林セラピーを積極的に開催した。今後も持続可能な森林づくりを推進していく。



森林セラピーの様子

### 安心して妊娠・出産できる環境づくりについて

**問** 市民が安心して出産できる環境を整えることは、重要であると考えますが、産科有床診療所の開設に向けた本市の取り組みと産後ケア事業の拡充はどのようなか。

**答** 産科有床診療所の令和5年11月1日の開設に向けて、病床設置許

可や施設整備補助など開設事業者への支援を継続して行っている。また、産後ケア事業については、県外で利用した場合の助成を開始した。

### 表丹沢魅力づくり構想の推進について

**問** 今後、新東名高速道路の全線開通といった絶好の機会を生かすため、表丹沢のブランド化に向けた取り組みはどのようなか。

**答** 令和4年度には、表丹沢ブランドを象徴する新たなロゴマークである「OMOTAN」を発表し、表丹沢らしい体験を「表丹沢ツーリズム」と銘打ち、新たな価値の創出に取り組んだ。

### 物価高騰対策について

**問** 食料やエネルギー価格を中心とした商品市場価格の高騰が続く中における、本市の物価高騰対策はどのようなか。

**答** 日々の暮らしを守る施策として、水道料金を減額したほか、地域経済を守る施策として、プレミアム電子商品券を発行し、地域経済の活力を取り戻し、市民生活の支援を行った。

### 新型コロナウイルス感染症拡大に対する事業評価について

**問** 新型コロナウイルス感染症対策における、本市の総合的な事業評価はどのようなか。

## 令和4年度各会計決算額

| 会計区分          | 歳入           | 歳出           |
|---------------|--------------|--------------|
| 一般会計          | 580億 1,143万円 | 550億 3,191万円 |
| 水道事業会計        | 29億 8,135万円  | 30億 5,798万円  |
| 公共下水道事業会計     | 52億 5,978万円  | 53億 7,884万円  |
| 国民健康保険事業特別会計  | 166億 3,778万円 | 165億 2,165万円 |
| 介護保険事業特別会計    | 135億 5,985万円 | 132億 8,656万円 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 27億 880万円    | 25億 7,182万円  |
| 計             | 991億 5,898万円 | 958億 4,872万円 |

※令和3年度に比べると、歳入決算額は19億4,787万円の減(マイナス1.9%)、歳出決算額は12億円の減(マイナス1.2%)でした。 ※決算額については全て万円未満切り上げ。 ※端数処理の関係上、各会計決算額を積み上げても合計と合いません。

**答** ワクチン接種や自宅療養者などへの生活支援についてスピード感を持って行ったほか、イベント開催の運用基準を作成するなど、社会経済活動との両立を見据えた対策をし、きめ細やかに対応した。

### 地産地消を生かした食育の推進について

**問** 地場産の食材を消費することは重要であると考えますが、本市の取り組みや普及状況はどのようなか。

**答** 食で育む元気なはだのを基本理念に乳幼児から高齢者まで生涯を通じた食育の取り組みを進めている。今後も、食の大切さや地場産物の積極的な活用について、情報発信や普及啓発を進めていく。



地場産物の積極的な活用を

## 歳入の質疑

### 地方交付税について

**問** 中学校で、牛乳給食から完全給食に移行したことによる本市の基準財政需要額の変化はどうか。

**答** 牛乳給食のままであったとしても、基準財政需要額の算定に影響を及ぼさない。

## 水道事業会計

### 幹線管路耐震化・更新事業費について

**問** 導水管や送水管の基幹管路の耐震化を進めているとのことだが、進捗状況と今後の見通しはどのようなか。

**答** 令和4年度の基幹管路の耐震化率は49.8%と、はだの上下水道ビジョンにおける計画値の46.7%を上回っている。今後の見通しは、計画の最終年度である12年度末の耐震化率61.9%を目指し、着実に整備を進めていく。

#### ▶本会議での反対討論

新型感染症の影響もある中で、一律に消費税を課税しているため、反対する。



管路耐震化の現場

#### ▶本会議での賛成討論

動力費の上昇を考慮したはだの上下水道ビジョンの改定を要望し、賛成する。

#### ▶採決の結果

委員会 可決および認定(賛成多数)  
本会議 可決および認定(賛成多数)

## 公共下水道事業会計

### 汚水管きよ整備事業について

**問** 秦野駅南部(今泉)土地区画整理事業のうち、B地区の下水道整備については、順次進められているとのことだが、住宅が立ち並ぶ区域であるC地区について、計画や整備の状況はどのようなか。

**答** 令和4年度は、現況の道路幅員や道路内への埋設物の状況などを調査し、整備可能な約480メートルを対象とした汚水管きよの整備に向けた実施設計を行った。

#### ▶本会議での反対討論

公共下水道使用料の値上げにより、生活がさらに苦しくなる人がいるため、反対する。

#### ▶本会議での賛成討論

秦野市浄水管理センターに隣接する未利用地の活用について早急に判断することを要望し、賛成する。

#### ▶採決の結果

委員会 可決および認定(賛成多数)  
本会議 可決および認定(賛成多数)

## 国民健康保険事業特別会計

#### ▶採決の結果

委員会 認定(賛成多数)  
本会議 認定(賛成多数)

## 後期高齢者医療事業特別会計

#### ▶採決の結果

委員会 認定(賛成多数)  
本会議 認定(賛成多数)

## 介護保険事業特別会計

### 地域介護予防活動支援事業費について

**問** 地域における通いの場は、人と会う機会を作り出し、健康寿命を延ばすことができる取り組みの一つである。集団による活動のため、新型感染症の影響があったと考えるが、コロナ禍が団体活動に及ぼした影響

や、参加人数の推移はどのようなか。

**答** 令和2年度は、多くの団体が一時的に活動の自粛を余儀なくされ、利用者数も6割程度まで落ち込んだが、住民意識の高まりもあり、4年度は団体数と利用者数が過去最高の数値となり、活動に活気が戻ってきている。

#### ▶本会議での反対討論

介護保険制度の改正は、低所得者が必要な介護サービスを受けられない可能性があることから、反対する。

#### ▶採決の結果

委員会 認定(賛成多数)  
本会議 認定(賛成多数)



いきがい型デイサービスの「いきいき100歳体操」